第 17 講　【地誌編】ヨーロッパ，ロシア・極圏

PART 1 ヨーロッパの自然環境，社会

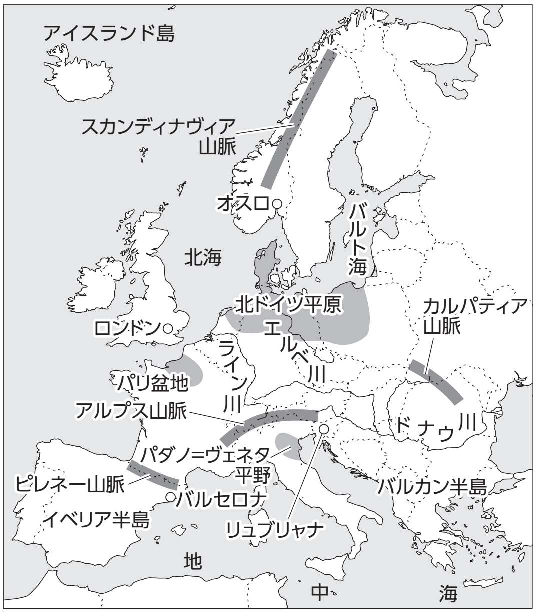
Chapter 1　ヨーロッパの自然環境

目標
ヨーロッパの地形的特徴を，南北に分けて理解しよう。
北大西洋海流がヨーロッパの気候に及ぼす影響を理解しよう。

1　ヨーロッパの地形

・北部は**安定地域**に属し，平原や丘陵が広がる。
　→**古期造山帯**に含まれる**ドイツ，ポーランド**などの地域では，〔　　　　〕の産出も見られる。河川の流れは緩やかで，〔　　　　　　〕川など**国際河川**や運河も多い。

・南部は**変動帯**に属し，険しい地形が多い。
　→〔　　　　　　　　〕**山脈**は巨大な**褶曲山脈**。
　→**イタリア半島**など地中海地域には，**火山**も分布する。



ヨーロッパの地形

地名	説明
カルパティア山脈	〔　　　　〕**造山帯**に属する。**氷河地形**が発達。
エルベ川	チェコからドイツへと流れる**国際河川**。 河口には〔　　　　　　　　　　　〕が見られる。
パリ盆地	〔　　　　　　〕が見られ，**ブドウ**や**小麦**の栽培が行われる。
パダノ=ヴェネタ平野	ポー川が形成した**沖積平野**。ポー川河口には土砂の堆積による潟湖ができ，ヴェネツィア市街を形成。
アイスランド島	プレートの〔　　　　　〕**境界**に形成された**火山島**。広い範囲が**氷河**で覆われる。
カルスト地方	〔　　　　　　〕が溶食された地形が見られる。

2 ヨーロッパの気候

・全体として気温の年較差の小さい，**穏やかな気候**。

→西ヨーロッパの大西洋岸ではその傾向が特に顕著で，**偏西風**や〔　　　　〕（北大西洋海流）の影響で，冬に温暖な気候となる（〔　　　　　　　〕**気候**）。

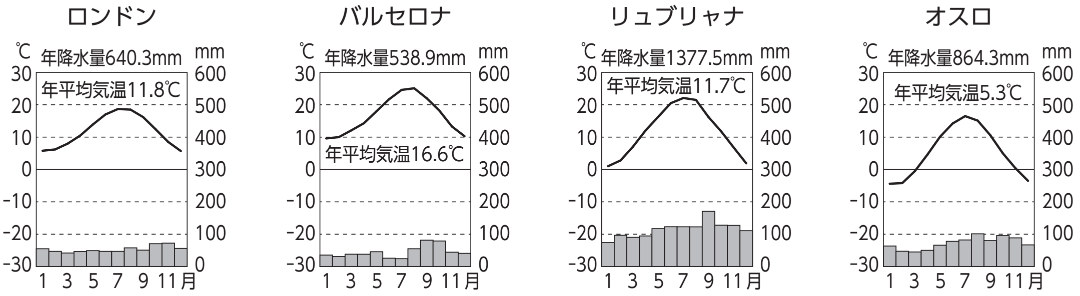
→**偏西風**を強く受ける地域では，〔　　　　〕**発電**も盛ん。

・南部の**地中海沿岸**は，〔　　　　　　　〕**気候**。夏は，**亜熱帯高圧帯**に覆われ少雨。冬には**前線**の影響もあり，一定の降水がある。

南東部には，季節変化が明瞭な**温暖湿潤気候**が見られる地域も。

・高緯度の北部では，**寒暖差**が大きな**亜寒帯湿潤気候**が見られる。

都市	気候区分	説明
ロンドン	Cfb	緯度が高い（北緯51度）が，**暖流と偏西風**の影響で，冬でも平均気温は5℃を上回るほど温暖。
バルセロナ	Cs	夏に少雨，冬に一定の降水がある気候を活かし，**地中海式農業**でオリーブなどの生産が盛ん。
リュブリャナ	Cfa	年間を通じて一定の降水が見られる。やや気温年較差の大きな気候。
オスロ	Df	**気温年較差**が大きい。高緯度のため冬は特に寒冷となる。



（ロンドンの雨温図は『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成。ほかは『理科年表』により作成）

まとめ

北部は安定地域に属し，なだらかな地形。南部は変動帯に属し，褶曲山脈や火山が見られる。

暖流の北大西洋海流は沿岸に暖気を運び，冬に温暖な気候となる。

Chapter 2　ヨーロッパの社会

目標
ヨーロッパにおける，おおまかな言語分布を理解しよう。
ヨーロッパにおける宗教分布を，言語分布と対応させて理解しよう。

1　ヨーロッパの言語・民族

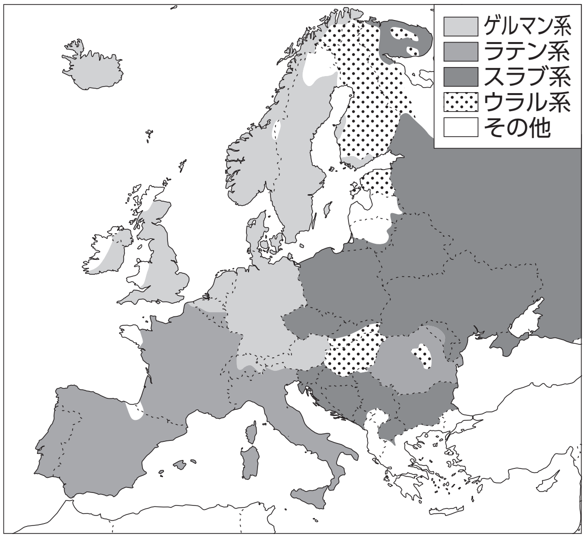
・ヨーロッパでは広く**インド・ヨーロッパ語族**の言語が使われ，その系統は大きく３つに分けられる。

→ゲルマン系・ラテン系・スラブ系。

・アイルランドでは〔　　　　　　　〕**系**の言語（インド・ヨーロッパ語族）が，フィンランドやハンガリーでは**ウラル語族**の言語が使われるなど，地域によっては多様な言語構成も見られる。

＜ヨーロッパの主な言語系統＞

言語系統	言語	主な使用地域
〔　　　　　　　〕系	英語やドイツ語など	北西部
〔　　　　　〕系	フランス語やスペイン語，イタリア語など	南部
〔　　　　　〕系	ポーランド語やチェコ語など	東部



ヨーロッパの言語分布

2 ヨーロッパの宗教

・ヨーロッパでは，古くより〔　　　　　　　　　　〕が信仰され，その教義は広く人々の生活に取り込まれている。

・地域・使用言語によって，主に信仰される**宗派**は異なる。
→**ゲルマン系**の言語を用いる地域は主に〔　　　　　　　　　　〕，**ラテン系**は〔　　　　　　　　　　〕，**スラブ系**は〔　　　　　　〕を信仰する傾向がある。

・バルカン半島は**オスマン帝国**に支配されていた歴史があり，現在も**アルバニア**や**コソボ**などには〔　　　　　　　〕が多い。また，近年は**西アジア**や**アフリカ**からヨーロッパへの移民が増加し，**ムスリム**の人口が増えている。

3 ECからEUへ

・ヨーロッパでは，古くより宗教観の違いや，領土・資源をめぐる争いが絶えず，20 世紀前半には二度の**世界大戦**が発生し地域が荒廃した。
→戦後には，地域全体での復興・発展と平和の構築を目指し，**地域統合**が推進された。

<EC・EU のあゆみ＞

年代	内容
1950年代	・**ECSC（ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体）**：石炭などの共同管理。 ・**EEC（ヨーロッパ経済共同体）**：域内の貿易の活性化。 ・**EURATOM（ヨーロッパ原子力共同体）**：原子力の共同利用。
1967年	・〔　　　〕**（ヨーロッパ共同体）**：原加盟国はフランスや当時の西ドイツなど６か国。 本部は**ベルギー**の**ブリュッセル**。
1970年代	・イギリスなどが加盟。
1980年代	・ギリシャ・スペインなどが加盟。
1993年	・〔　　　〕**（ヨーロッパ連合）**に改組。
2000年代	・〔　　　　　　　　　　〕の旧社会主義諸国も加盟。
2020年	・〔　　　　　　　〕が離脱。2022年現在は27か国が加盟。

まとめ
北西部はゲルマン系，南部はラテン系，東部はスラブ系の言語が使用される。
ゲルマン系の言語の使用地域で主にプロテスタント，ラテン系でカトリック，スラブ系で正教会が信仰される。

第17講 PART 1 確認問題

1 ヨーロッパの地形について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① ドイツ，ポーランドは新期造山帯に含まれる。
② ライン川などの河川の流れは緩やかで，国際河川として利用される。
③ 南部は変動帯に属し，険しい地形が多い。
④ イタリア半島など地中海地域には火山も分布する。

2 ケスタが見られる地域はどれか。

① アイスランド島　② パダノ＝ヴェネタ平野
③ パリ盆地　④ ユーラン半島

3 西ヨーロッパの大西洋岸が，気温年較差の小さい穏やかな気候となる要因として，正しい組み合わせはどれか。

① 偏西風と暖流　② 偏西風と寒流
③ 貿易風と暖流　④ 貿易風と寒流

4 ヨーロッパの各都市の気候区分として，正しいものはどれか。

① バルセロナ：地中海性気候　② オスロ：西岸海洋性気候
③ リュブリャナ：温暖冬季少雨気候　④ ロンドン：亜寒帯湿潤気候

5 ケルト系の言語が使われる国はどこか。

① アイルランド　② ハンガリー
③ フィンランド　④ ラトビア

6 イスラームを信仰する人々が多い国はどこか。

① アルバニア　② セルビア
③ ブルガリア　④ ルーマニア

7 石炭などの共同管理を目的に，1950 年代にヨーロッパで結成された組織はどれか。

① ECSC　② EEC
③ EU　④ EURATOM

8 EC および EU について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① EC の原加盟国はフランスや当時の西ドイツなど 6 か国である。
② EC の本部はオランダのアムステルダムに置かれた。
③ イギリスは 1970 年代に加盟し，2020 年に離脱した。
④ 2000 年代に入り，旧社会主義の東ヨーロッパ諸国が加盟した。

第17講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①　ドイツ，ポーランドなどの地域は**古期造山帯**に含まれる。新期造山帯に含まれるのは，アルプス山脈，ピレネー山脈などの南部。

2 解答：③　**パリ盆地**では**ケスタ**が見られ，その斜面がブドウの栽培に利用されている。

3 解答：①　西ヨーロッパの大西洋岸は，**偏西風**と**暖流**の**北大西洋海流**の影響を受け，冬でも気温があまり下がらず，気温の年較差が小さい穏やかな気候を示す。

4 解答：①　**バルセロナ**が位置する**地中海沿岸**は，夏季に乾燥する**地中海性気候**を示す。オスロは亜寒帯湿潤気候，リュブリャナは温暖湿潤気候，ロンドンは西岸海洋性気候。

5 解答：①　**アイルランド**では，**英語**と**ケルト語**の 2 つが，公用語とされている。

6 解答：①　**アルバニア**などバルカン半島の一部の国々は，かつてオスマン帝国の支配下にあったため，現在でも**イスラーム**を信仰する人々が多い。

7 解答：①　1952 年に石炭などの共同管理を目的に，**ECSC（ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体）**が組織された。

8 解答：②　EC の本部は，ベルギーの首都である**ブリュッセル**に置かれた。